

当院における新型コロナウイルス感染症の発生について  
(最終報)

令和4年4月5日付(第1報)以降、複数の病棟において職員2名が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが確認されました。

その後、当該職員と接触があった入院患者様及び病棟で勤務する職員にPCR検査を行った結果、すべての方々の陰性が確認されました。その後も引き続き、必要な期間慎重に経過観察等の対応を行ってまいりましたが、患者様のご協力、迅速な対応、感染対策遵守、積極的な検査実施により患者様・職員への感染伝播はなく、本日終息に至りました。

皆様には、ご心配・ご迷惑をおかけしましたが、今後とも感染拡大防止に全力で努めておりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

令和4年4月18日

国立病院機構鈴鹿病院

院長 久留 聡